

とりあえず

とりあえず と言うことほけとて又編利だ

しんじの横の毛糸の心はつちかし平二の

やのよごれはたあはれぬまも

とりあえず

はじめをぬたとすけ びっくりした

しんじと毛糸の心は とうろくも

にあやうい

どうしてさしん 命とが あまはが 気がつ

かすかた

かんたんだ だれかか毛糸の心はつちを収納

するのめんめん どうりあえず しんじの

破れあいた 次の人ま フト見ると心はつちが

あいつあつ ちうだここへ置かばいいが

と心はつちを つかさねる

次々としんじの 有りはパンツの置場所に

存る

細月 じこはか かしんじの甲にまぶした

かしんじの甲は あまほろろい合巻

かすかたの茶びつ かあくのゆりもの

美しい布 べつ々 空気があふ

そこのよごれた夕暮ル、ゆれた夕暮ルが

七、八枚のちかき厚つてい

服がわつて その夕暮ルを全部すててし

る 花 地にそとりのあそびがある

はづゆのスカートは このとりあそび

ちーテレのスカートは少しでちか

遠感感があふ

その目によつて片がけがとまるとい

かノテニのちかきい セッかち私

一気にはつてしあふ

ちつとそこのちかきが合

2021  
2/5